

地域からの温暖化対策のための第4世代 自然エネルギー熱政策の政策形成と実装

活動地域  東京、日本全域

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

省庁、自治体との
意見交換

5件

政策導入に向けた調整

2件

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

75%



4DHセミナー in東京 (2019年11月)

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

- 地域熱供給はインフラ事業でもあるため、行政との連携が不可欠であること
- 自然エネルギー熱利用の必要性、第4世代地域熱供給のコンセプトを共有すること

■ 工夫した点

- 地域でのセミナーを積極的に行うとともに、デンマークへの訪問やデンマークの専門家との協議の場を設けた
- 第4世代地域熱供給フォーラムに行政の参加を促した

課題

日本のエネルギー政策に欠けている自然エネルギー熱政策、とくに自然エネルギー第4世代地域熱供給や小型バイオマス利用の実践に向けた関係者や知見の集積と具体的検討。

目標

- ① 地方自治体での自然エネルギー熱利用政策
- ② 第4世代地域熱供給による自然エネルギー熱の社会実装
- ③ 自然エネルギー熱利用のプラットフォーム形成

活動内容と成果

「第4世代地域熱供給フォーラム」の運営を継続し、専門家や自治体、事業者の知見を集約し、自然エネルギー熱利用に向けた新たなプラットフォームを形成した。デンマークをはじめとした欧州の地域熱供給や知見をもとに、日本国内の課題を含めて第4世代地域熱供給ガイドブックを作成した。また複数の地方自治体と地域熱供給のための調査、戦略策定の支援、新規調査業務の助言などを行い、将来のプロジェクト実装に向けた第一歩となっている。



都内の熱供給施設視察 (2019年11月)



札幌市内での協議 (2019年10月)

全助成期間の活動を振り返って

「第4世代地域熱供給フォーラム」を立ち上げ、研究会やセミナーを継続的に運営してきたことで、専門家や自治体、事業者相互の知見を交換し、集約することができた。デンマークやドイツなど海外の進んだ取組みの知見をいかして国内の自然エネルギー熱政策の課題が見えてきた。当初は国内の自治体など関係者の関心を集めることに苦勞したが、フォーラムを通じて関心を高め、複数の地域での地域熱供給のための協議ができています。

〒160-0008
 東京都新宿区四谷三栄町16-16
 電話：03-3355-2200
 E-mail：<https://www.isep.or.jp/about/contact>
 (問合わせフォーム)
 HP：<http://www.isep.or.jp>



今後の展望

「第4世代地域熱供給フォーラム」は、より専門家や地方自治体、関係者の参加を促し、将来的に自立したイノベーション・クラスターを形成していく。地域での自然エネルギーを中心とした熱エネルギー政策を実現するための中長期的な熱ロードマップを策定する。さらに自然エネルギー熱やセクターカップリングでの第4世代地域熱供給の社会実装事業を実現し、持続可能な地域づくりに貢献する。